

市政を聞く 一般質問

6月定例会の一般質問は、13日、14日の両日行われ、11名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問発言通告一覧表

質問者	件名
西本 正俊	◎時事問題 ◎小浜市の災害対応能力を問う ◎明日の環境と景観を考える
池尾 正彦	◎水稲の航空防除について（有人ヘリ使用） ◎食のまちづくりと環境保全型農業について ◎小学校におけるＴＴ教育について
水尾 源二	◎若狭路博2003について ◎小浜小学校移転について
山本 益弘	◎市道の改良について ◎まち、おらづくりについて ◎エンゼルラインの今後と健康の森について
清水 正信	◎行財政改革、市町村合併を問う ◎教育行政について
宮崎 治宇蔵	◎国民健康保険税の減免制度について ◎市営住宅の建設について ◎有事法制3法について
池田 英之	◎食のまちづくりと若狭路博2003について ◎文化・芸術活動の振興について
杓子 明	◎市町村合併について ◎上中・今津新線鉄道について ◎障害者（児）生活支援について
中村 千代子	◎少子化対策について ◎DV防止法について ◎市の木、市の花について
石橋 和彦	◎若狭路博をカラフルに盛り上げよう ◎「みけつくに」の原点は食材と料理だが ◎まち並みづくりへの補助金制度新設について
富永 芳夫	◎オンブズマン制度の導入について ◎ボランティア、NPOと行政との協働 ◎大手橋・西津橋の早期架け替えについて



西本正俊 議員

問①

市町村合併に対する市長の基本的スタンスと今後取り組む内容とスケジュールについて。

答

合併は避けて通れないと考える。合併特例法期限内の合併が望ましく合併は対等合併のスタンスである。また、各地区等を対象に住民説明会を開催し自ら出向き意見交換をしたい。

また意見集約の一環としてアンケートを実施したいと考える。

問②

今津・上中間新線鉄道に対し、県から大変厳しい調査結果が出たが市長の認識は。

答

むしろ、より現実な結果であると認識している。現在運行されている北近畿丹後鉄道より良い調査結果である。鉄道路線名称も新しくなる予定でありまた新線実現のための民間団体も立ち上がっており、これを機に早期実現に向けさらに努力していく。



池尾正彦 議員

問①

水稲の航空防除について（有人ヘリ使用の是非）

答

福井県下七市の中で有人ヘリコプターによる航空防除を実施しているのは、小浜市と武生市のみである。実施しない他市の理由としては、環境

重要性を認識し取り組んでいきたい。

問③

小学校におけるＴＴ教育（複数教諭による授業、学習レベルに応じた授業展開）について

答

小学校段階における子供達の学力保持に有効であり、現場の先生も強く希望していることは認識しているので、検討する。

問②

食のまちづくりと環境保全型農業の推進における小浜市の役割について

答

これまでは特別に環境保全型農業への取り組みはしていない。減農薬・減化学肥料を進めるためにも、農業政策における土づくりの重要性を認識し取り組んでいきたい。



水尾源二 議員

問①

若狭路博2003について、二度とない若狭おばま発全国ネット情報発信の好機と思うが、市長の決意と市民の協力は。

答

舞鶴若狭自動車道の舞鶴東から小浜西間の供用開始、JR小浜線電化開業を好機と捉えて市民・事業者・行政が一体となり成功させ、持続した交流人口の飛躍的増大につながるものと考えている。

問②

小浜小学校移転について

答

去る五月二十八日小浜小学校建設促進期成同盟会の総会で、芝浦メカトロニクス用地を第二案として提示、これから同盟会の皆さんが第一案の中央グラウンド案、第二案の芝浦メカトロニクス用地案の両案について、協議検討され、決定されるものと思う。



山本 益弘 議員

問① 今富地係における市道の改良時期を問う。

答 生野尾線は平成十六年度から一三〇〇mを実施。今富三号線は未整備部分六四〇mは今年度から協議しながら進めていく。府中線は四四〇mを本年度から平成十六年度完了目標として改良していく。

問② 各地区政策懇談会と「まち・むらづくり」の整合性を問う。

答 「まち・むらづくり委員会」はすべての地区で委員会を設置し独自の取り組みをして頂いている。政策懇談会も、まち・むらづくりも、地区を展望する一体的なものと考えている。年度五十万円の補助限度は事業により前向きに考えていきたい。

問③ エンゼルラインの今後の活用方法を問う。

答 エンゼルライン活用検討委員会等と協議していく。国宝めぐりバスの運行も考慮し重要な観光資源として活用していく。



清水 正信 議員

問① 今の行政改革は第三次であるが、成果はどこに消えたのか。

答 職員給与と費で見ると削減されている。

問② 人件費総額は増加しており、中長期的に基づく大胆な行政構造改革が必要である。

問③ 市町村合併は優遇策目当での構想力無き合併はだめであり、目的ではなく手段。まちづくりのランドデザインの構想が重要である。

答 同感。ランドデザイン、将来計画、市民合意をはかる。

問④ 環境の世紀、命の源「水」は重要な鍵。若狭の再生を目指し、自然環境の保護、整備等の財源確保の手段としての水源税の創設の考えは。

答 食のまちにどんなものが考えられるか検証したい。

問⑤ 小浜小学校の移転第二案の教育環境と孟母三遷の教えについて。

答 適地である。



宮崎 治宇蔵 議員

問① 国民健康保険税の減免制度について。

答 滞納は九百六十九件、国保税に関する相談は約百件です。

問② 市営住宅の建設について。

答 三十三団地、五百七十五戸は常に満室の状況です。申し込み者が六十七人と大変多いことから、山手団地については平成十五年以降の建設を計画している。

問③ 有事法制三法について。

答 憲法違反になるとは考えないが、平和外交が基本であり、国会の慎重審議を求めたい。国民の多くが平和憲法を自分のものとして受け止めていると認識している。



池田 英之 議員

問① 食のまちづくり推進における今後の課題と若狭路博2003の取り組みについて。

答 「食のまちづくり条例」に基づいて、各地区で取り組みが進められている「新世紀いきいきむらまちづくり事業」とも連携しながら、市、市民および事業者が主体的に参画し、協働して個性的なまちづくりを継続して推進することです。また、イベントは本市PRの千載一遇の機会として捉え、最大限、食のまちをアピールしたいと考えています。

問② 文化・芸術活動の振興における本市の基本的な考え方と今後の取り組みについて。

答 市民が文化活動に主体的に取り組む、日々の暮らしを充実出来るような環境づくりを進めることと考えております。今後、文化活動による街の活性化を図るため、文化・芸術振興の課題等について協議する場の設定を検討したいと考えます。



杓子 明 議員

問① 市町村合併について、他市町村首長から働きかけがあったか。合併協議会を早急に立ち上げるべきと考えるが、いかがか。

答 非公式には働きかけはあった。区長会等と積極的な意見交換をし、市民に対してアンケートを実施し民意を確認したい。

問② 上中今津新線鉄道の需要予測の結果を受けて市長の決意を伺う。

答 厳しい数字であるが、事業認可の可能性は十分ある。公設民営であれば初年度から黒字となる。不転の決意で望む。

問③ 小児医療センター設立の考えを問う。

答 県と話し合い検討する。

問④ 精神障害者に対する市の対応と欠格条項を問う。

答 社会福祉課を窓口とし、保健士中心で支援していく。三件の欠格条項があり直ちに見直している。心のバリアフリーにも取り組んでいる。